



請

正

②特願昭 46-13975 ①特開昭 47-31773

④公開昭47.(1972) 11.13 (全 2 頁)

審査請求 有

特 許 願

(2,000円)

昭和 46 年 3 月 11 日

特許庁長官 佐々木

学 殿

①9 日本国特許庁

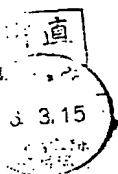
# ⑬ 公開特許公報

1. 発明の名称

模倣眼鏡装飾方法

2. 発明者

奈良県磯城郡田原本町大字通 861番地  
力 福 蔵



3. 特許出願人

大阪府八尾市西山本町 1 の 188  
株式会社 岩 田 良  
代表者 岩 田 良 三

4. 代理人

住所 東京都港区芝西久保松川町 2 番地 第17ビル  
〒 105 電話 03 (502) 3161 (大代表)  
氏名 (5847) 弁理士 鈴 江 武 彦

46 013975

方式  
審査

明 細 書

1. 発明の名称

模倣眼鏡装飾方法

2. 特許請求の範囲

表面に薄い仕上被膜を施した透明樹脂性シートを通気形状に集った模倣体を、装飾を施すべき物体に貼着した後、この模倣体を透明性樹脂中に浸漬し、その後、この樹脂を乾燥させることを特徴とする模倣眼鏡装飾方法。

3. 発明の詳細な説明

この発明は眼鏡をまねた装飾を施すための模倣眼鏡装飾方法に関し、その目的とするところは、簡単な操作によつて、実際の眼鏡と同様の感を生ずる装飾を施すことができ、その模倣体が歪みに剥離したり、油などがついたりすることがないようにした模倣眼鏡装飾方法を提供することにある。

以下、この発明の一実施例を図面に従い説明する。まず、表面に塗膜成いは貝の材質感を生ずるような薄い仕上被膜を施した板などの基

序内整理番号

6240 24

⑤2日本分類

13/ A7

材樹脂性シートを、加圧成型成いは打抜成型などの適宜手段によつて、適宜形状に集った模倣体を設ける。そして、この模倣体を、ブラシのヘッドなどの装飾を施すべき物体の装飾面Ⅰに接着剤を用いて貼着する。この後、上記物体Ⅰに貼着した模倣体Ⅱ全体を、透明性樹脂中に浸漬した後この樹脂を乾燥させることによつて実際の眼鏡と同様の感を生ずる装飾を施すことができるものである。

この発明は上述したように、表面に薄い仕上被膜を施した透明樹脂性シートを通気形状に集った模倣体を、装飾を施すべき物体に貼着した後、この模倣体を透明性樹脂中に浸漬しその後、この樹脂を乾燥させることを特徴とする模倣眼鏡装飾方法に係わるものである。

従つて、簡単な操作によつて実際の眼鏡と同様の感を生ずる装飾を施すことができる。また、模倣体は、嵌め込まずに、貼着するものであるが、樹脂中に浸漬するものであるから、この樹脂が、模倣体内に浸漬すると同時に模倣体全

体をも保護するものであるから、この塗料の乾燥後においては、模様が固化、堅牢となると共に、模様体を保護した塗料は、模様体の固定化とその摩耗、剥離及び変色などを防ぐ作用をするもので、長期に亘つて、模様体を初期の状態のまま確實に保持することができる。

#### 4. 図面の簡潔な説明

図面はこの発明の一実施例を示し、第1図(a)乃至(c)は、この説明方法の工程説明図、第2図は、この説明方法にて塗布を施したブラシヘッドの斜視図である。

1…仕上液膜、2…塗料収湿性シート、3…模様体、4…塗布を施すべき物体、5…透明性塗料

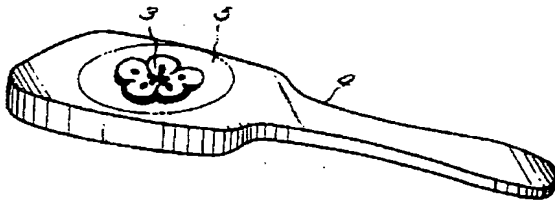
出 願 人 株式会社 岩田良

代理人 井理士 鈴 江 武 彦

昭和47年

- 8 -

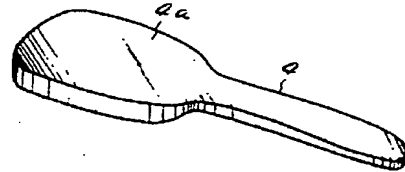
#### 第 2 図



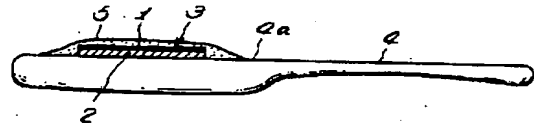
(a)



(b)



(c)



#### 5. 添付書類の目録

- |           |    |
|-----------|----|
| (1) 委任状   | 1通 |
| (2) 明細書   | 1通 |
| (3) 図面    | 1通 |
| (4) 願書副本  | 1通 |
| (5) 審査請求書 | 1通 |

#### 6. 前記以外の発明者、特許出願人または代理人

(1) 発 明 者

(2) 特許出願人

(3) 代 理 人

住所 東京都港区芝西久保桜川町2番地 第17森  
氏名 (5743) 弁理士 三 木 武  
住所 同 所  
氏名 (6694) 弁理士 小 宮 幸  
住所 同 所  
氏名 (6881) 弁理士 坪 井

